

ウッドデザイン協会アンケート
2025年
結果概要

農林中金総合研究所 主事研究員 土居拓務

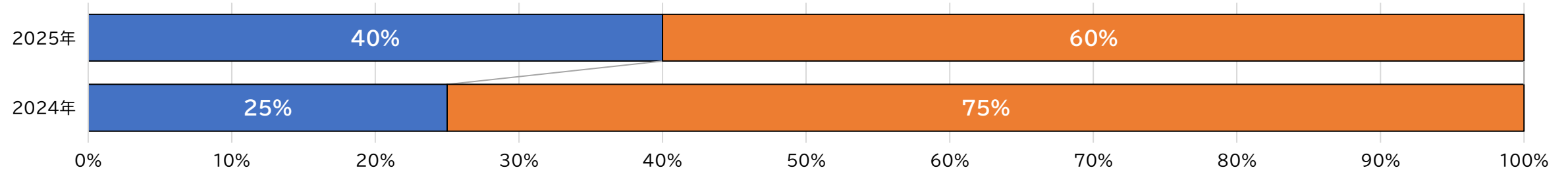
来場者の属性とウッドデザイン賞マークの認知度

- 来場者の属性
 - ✓ 林業関係者の比率は男性で4割、女性で25%程度と、前年から大きな変化はない。
 - ✓ 女性は20代の回答者が最も多く、2025年も若年女性層の来場が目立つ。
- マークの認知度
 - ✓ 認知度の大幅な上昇はみられないが、「見たことがある」層は増えており、マークとの接触は着実に広がっている。

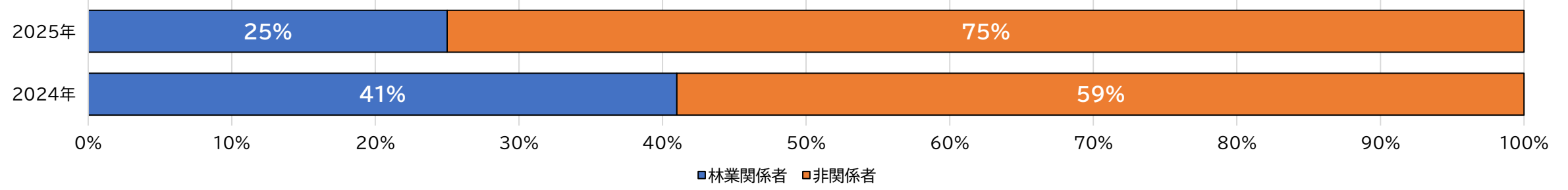
回答者に占める林業関係者割合(男女別)

- 年代別内訳からみると、男性回答者に占める林業関係者の割合は2024年41%、2025年40%で概ね横ばいである。一方、女性回答者では2024年25%、2025年25%で大きな変化はみられない。
- 林業関係者比率は一貫して男性の方が高く、女性は4人に1人程度にとどまる。性別無回答は2025年に少数みられるが、全体傾向を左右する規模ではない。

男性回答者に占める林業関係者の割合 (n 2024 : 548、n2025:472)



女性回答者に占める林業関係者の割合 (n 2024:557、n2025:490)

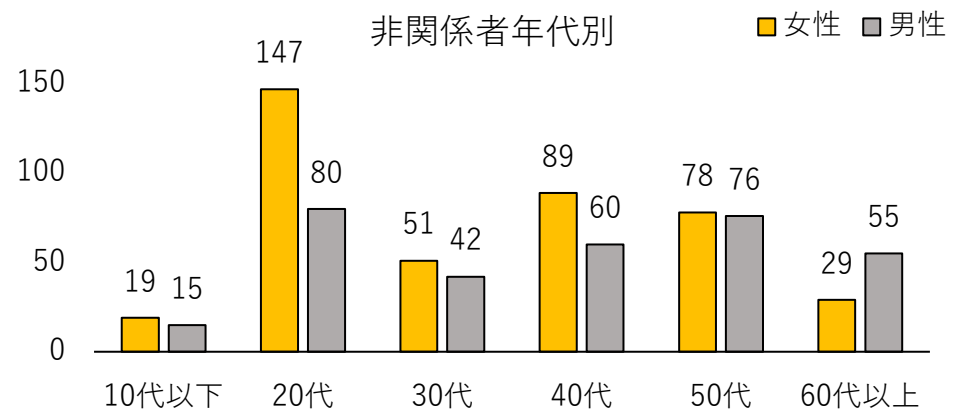
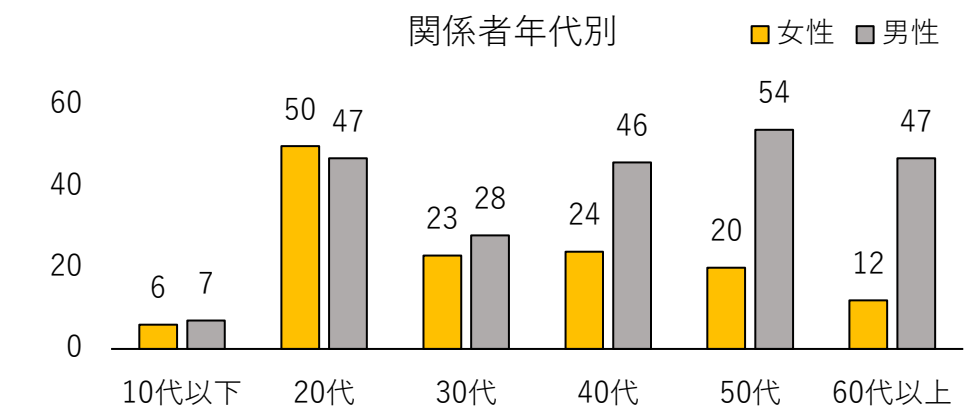


注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。

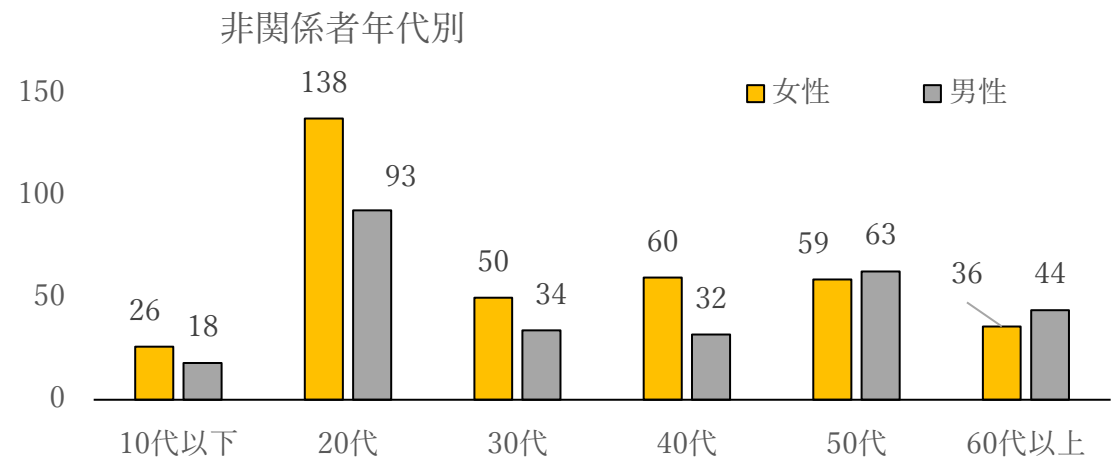
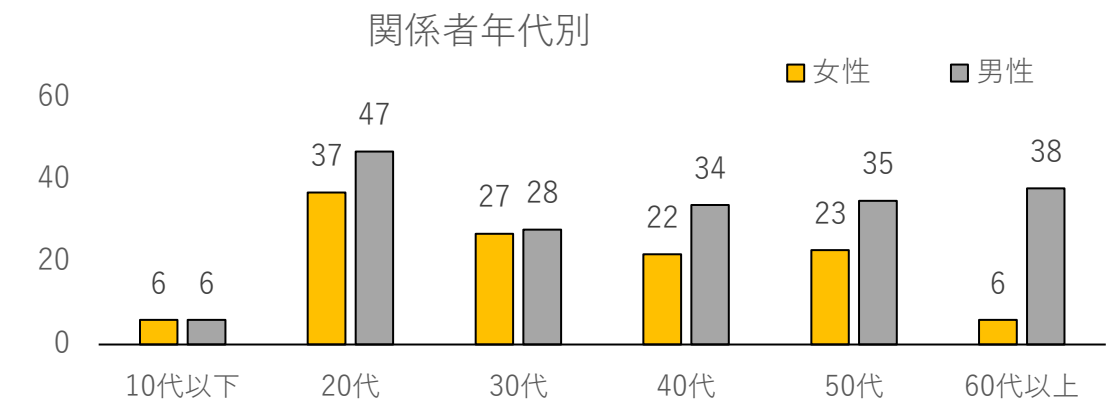
回答者に占める林業関係者割合(男女別・年代別)

- 林業関係者・非関係者ともに、女性は20代の回答者が最も多く、2025年も若年層、とりわけ20代女性の来場が目立つ。
- 男性では、非関係者は両年とも20代が最多である一方、林業関係者は2024年の50代中心から、2025年は20代中心へと重心が移っている。

2024年 (n 男性:557 女性:548)



2025年 (n 男性:472 女性:490)



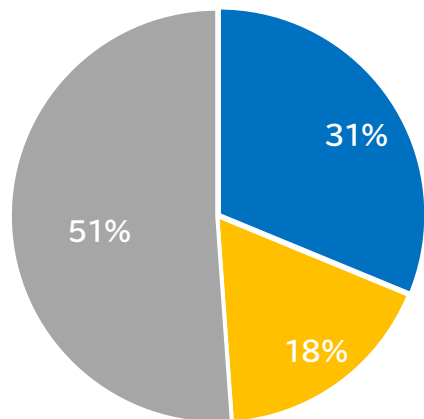
注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。

ウッドデザイン賞マークの認知度

- 2025年は、「木を使った優れたデザインとして選ばれたマークであることを知っていた」が29%となり、2024年の31%から2ポイント低下した。一方、「意味はよく知らないが、そのマークは以前に見たことがあった」は18%から22%へ上昇した。
- 「知らなかった」は51%から49%へ低下しており、マークへの接触経験は広がっている。一方で、意味まで含めた理解はやや伸び悩んでいる。

2024年 (n 1105)

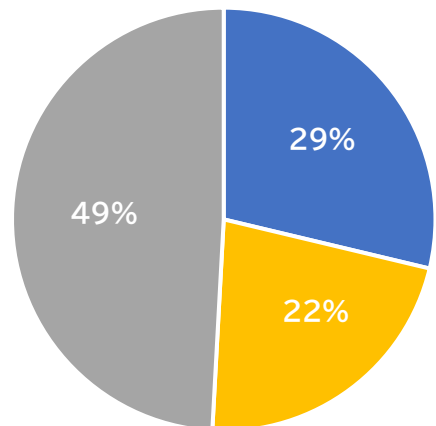
Q. ウッドデザイン賞のマークを知っていましたか？



- 木を使った優れたデザインとして選ばれたマークであることを知っていた
- 意味はよく知らないが、そのマークは以前に見たことがあった
- 知らなかった

2025年 (n 985)

Q. ウッドデザイン賞のマークを知っていましたか？



- 木を使った優れたデザインとして選ばれたマークであることを知っていた
- 意味はよく知らないが、そのマークは以前に見たことがあった
- 知らなかった

「ウッドデザイン賞マーク」がついている商品や建物、活動を見ると、どのような印象を持ちますか。（複数選択）

- 「ウッドデザイン賞マークに対する印象」の2024年と2025年の比較

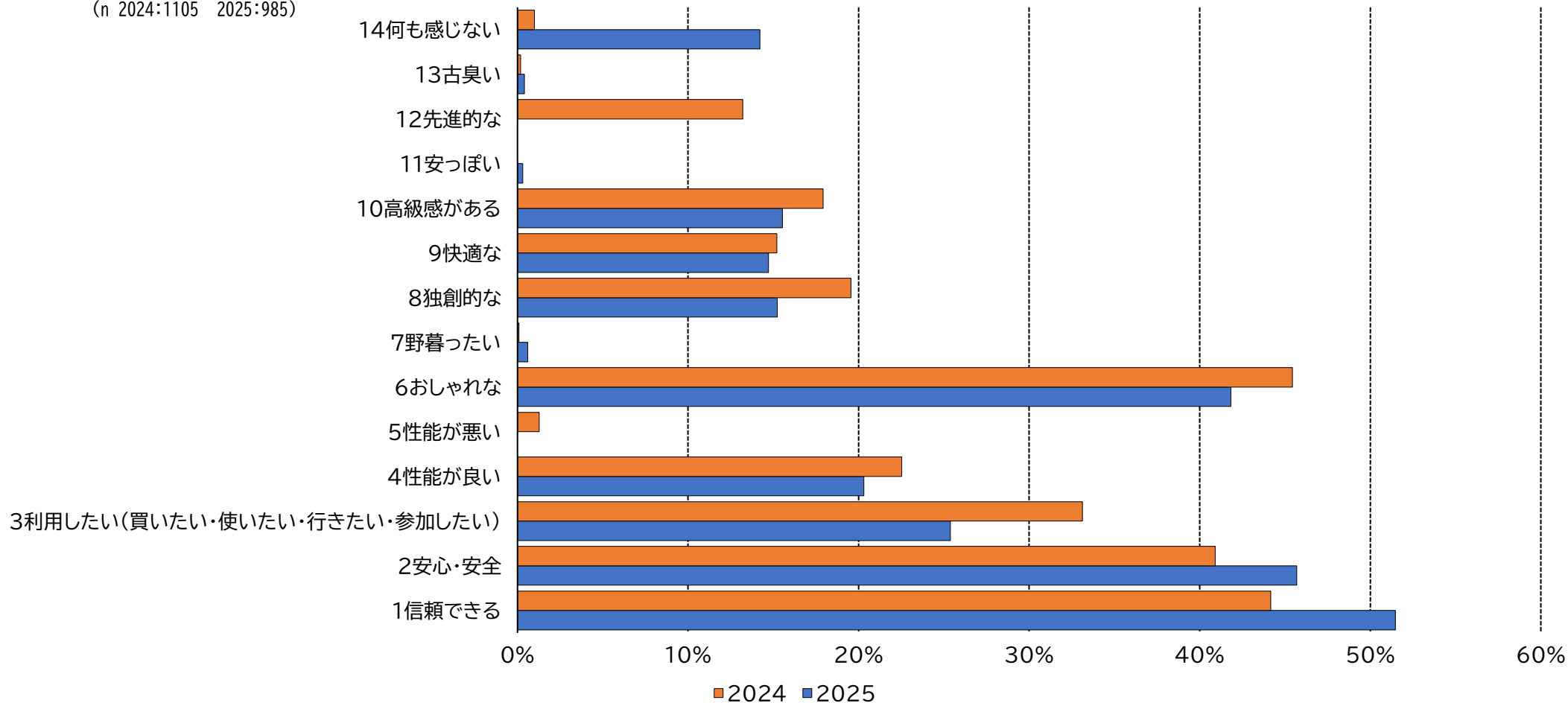
注. 無回答はサンプル数が限定されるため除いて分析

- ✓ 全体として「信頼できる」「安心・安全」「おしゃれな」などの好意的印象が高く、マークに対する評価は概ねポジティブである。
- ✓ 年次比較では、「環境に良い」「先進的な」は2024年が2025年を有意に上回る。
- ✓ 女性では2025年に「信頼できる」「安心・安全」の評価が高まり、信頼性・安全性の印象が相対的に強い。

ウッドデザイン賞マークに対する印象【年次別比較】

- 2024年・2025年を通じて、「信頼できる」「安心・安全」「おしゃれな」などの好意的印象が高く、マークに対する評価は全体としてポジティブである。
- 年次比較では「先進的な」は2024年が2025年を有意に上回った。一方、「古臭い」「安っぽい」「性能が悪い」といった否定的印象は両年とも低水準にとどまっている。

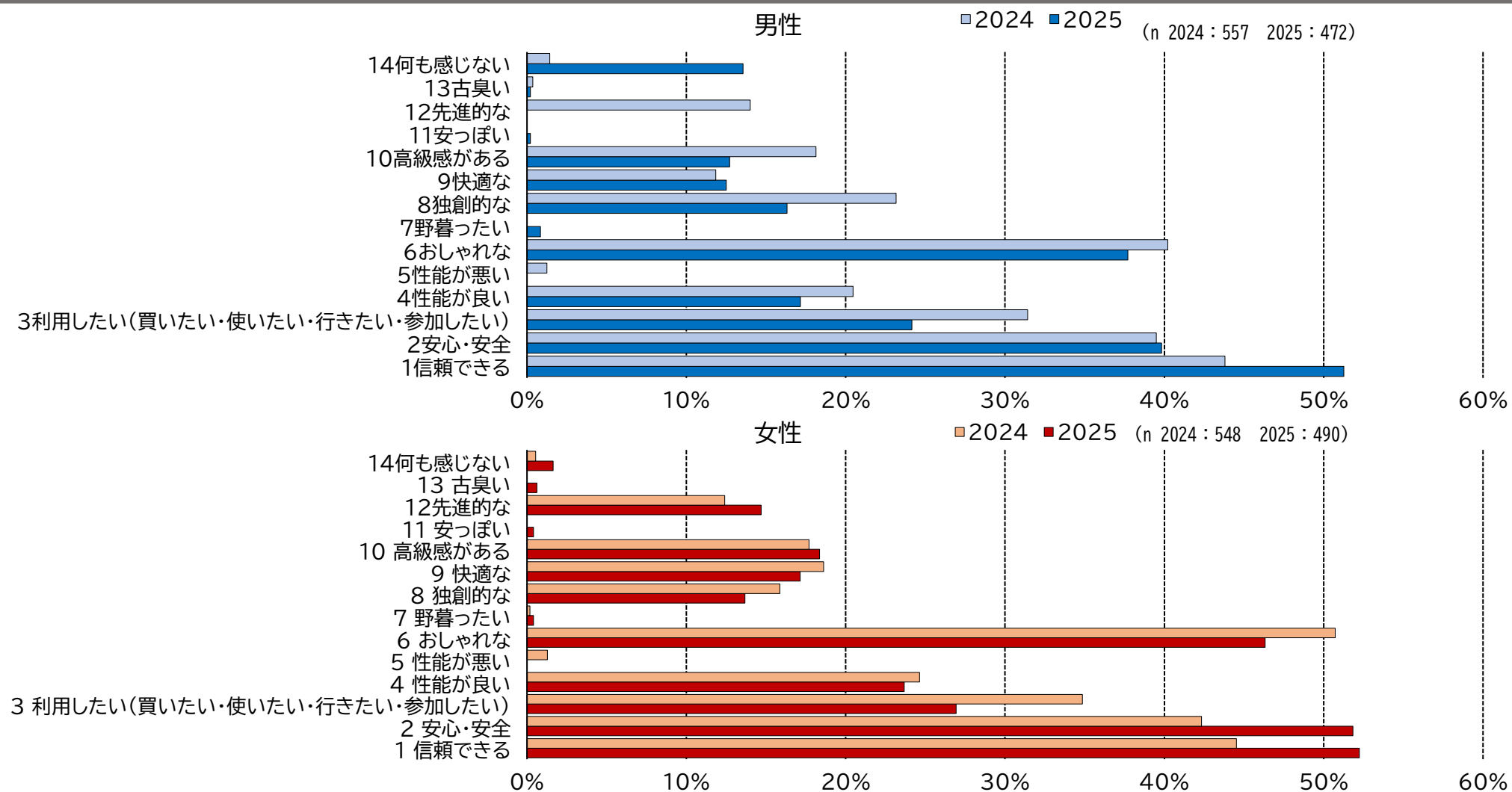
(n 2024:1105 2025:985)



注. 質問項目「環境に良い」「環境に悪い」は2024年度のみ調査し、2025年度は調査していないため本集計から除外した。

ウッドデザイン賞マークに対する印象【男女別・年次別比較】

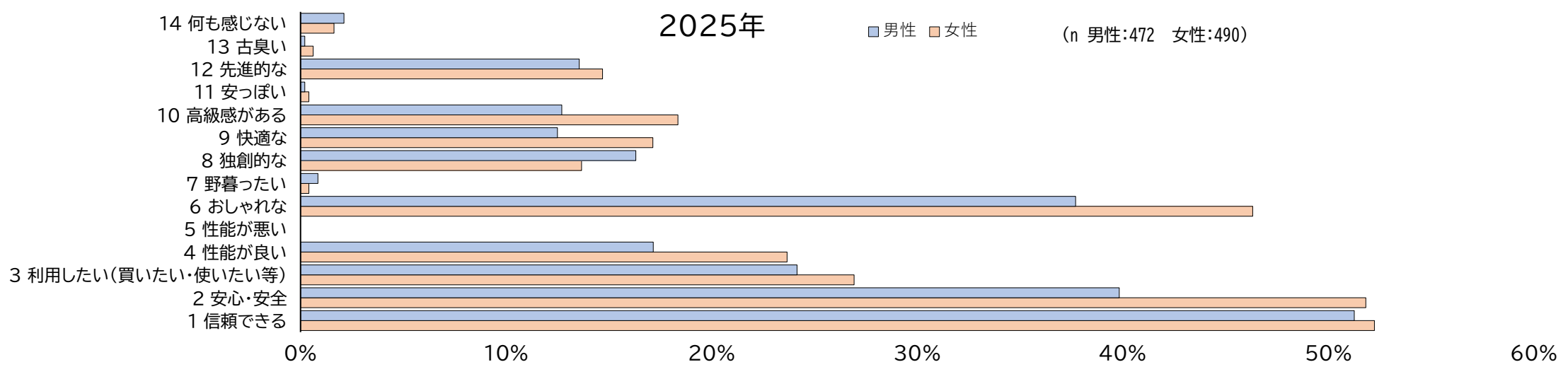
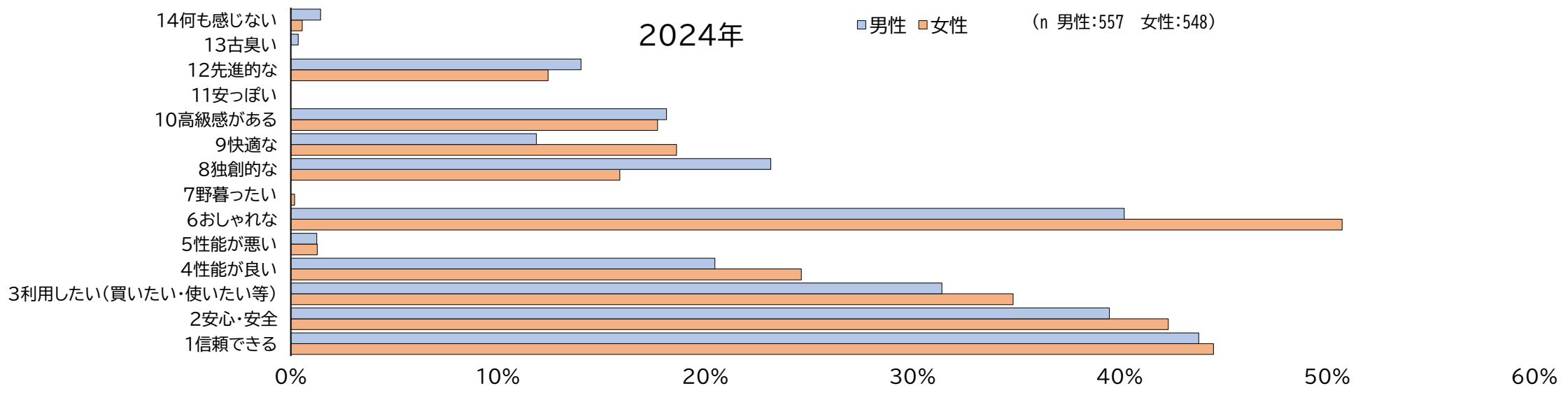
- 男性では、2025年に「信頼できる」の印象が強まる一方、「利用したい」「独創的な」「おしゃれな」は2024年をやや下回っている。
- 女性では、「信頼できる」「安心・安全」が上昇する一方、「利用したい」「おしゃれな」は低下しており、2025年はデザイン性よりも信頼性・安全性の評価が相対的に強い。



注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。
 質問項目「環境に良い」「環境に悪い」は2024年度のみ調査し、2025年度は調査していないため本集計から除外した。

ウッドデザイン賞マークに対する印象【年次別・男女別比較】

- 2024年・2025年ともに、女性は男性より「おしゃれな」「快適な」「安心・安全」と受け止める傾向が強い。
- 一方、男性は女性より「独創的な」とみる割合が高く、マークに対する印象には性別差がみられる。



注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。
 質問項目「環境に良い」「環境に悪い」は2024年度のみ調査し、2025年度は調査していないため本集計から除外した。

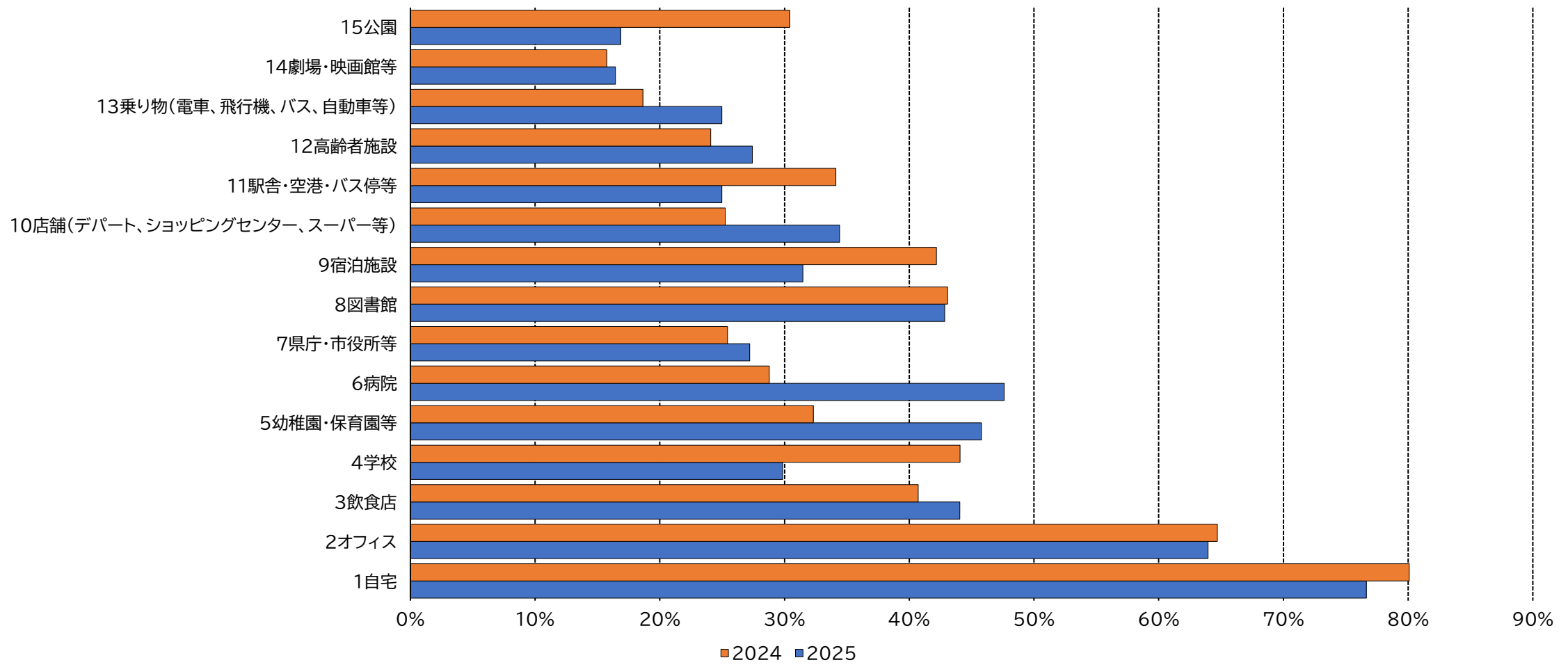
木材を利用した内装や家具、建物などがあつたらいいなと思う場所はどこですか。 (複数選択)

- 「木材を利用した製品があつたらいいと思う場所」の2024年と2025年の比較
 - ✓ 2025年も「自宅」「オフィス」が上位であるが、「自宅」はやや低下し、「オフィス」は概ね横ばいである。一方、「病院」「幼稚園・保育園等」「店舗」「乗り物」「飲食店」は増加し、「学校」「宿泊施設」「駅舎・空港・バス停等」「公園」は減少。
 - ✓ 性別比較では、男女とも「学校」「公園」が低下しており、2025年は女性が「病院」「幼稚園・保育園等」「飲食店」で、男性が「自宅」「オフィス」「乗り物」で相対的に高い。
 - ✓ 公共性の高い空間でのニーズが拡大しているより、医療・子育て・商業の場への期待が高まる一方、学校や公園では回答割合が低下している傾向がみられる。

木材を利用した製品のあったらいいなと思う場所【年次別比較】

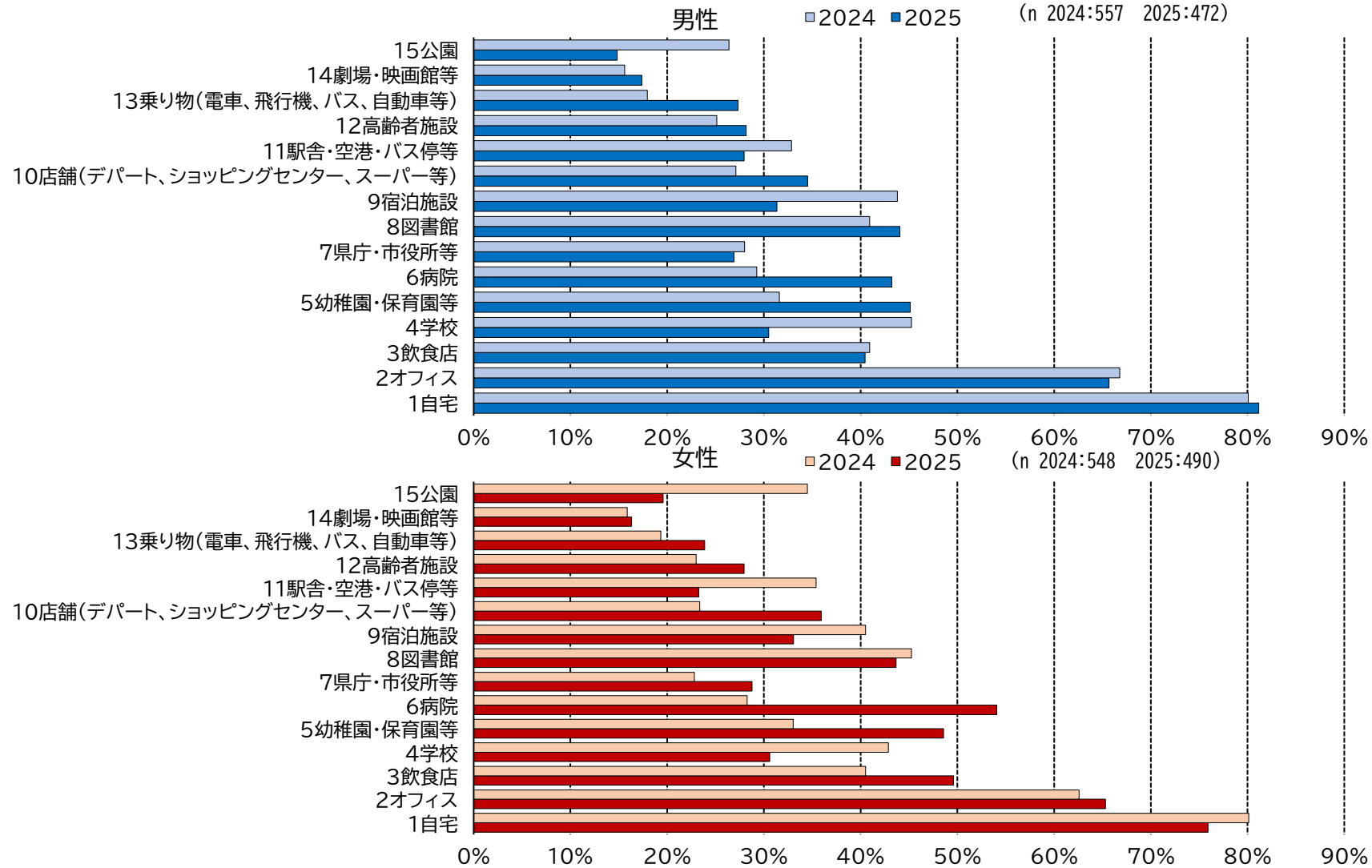
- 2025年も「自宅」と「オフィス」が上位であるが、2024年と比べると「自宅」はやや低下し、「オフィス」は概ね横ばいである。
- 一方、「病院」「幼稚園・保育園等」「店舗」「乗り物」「飲食店」は増加し、「学校」「宿泊施設」「駅舎・空港・バス停等」「公園」は減少している。

(n 2024:1105 2025:985)



木材を利用した製品のあったらいいなと思う場所【男女別・年次別比較】

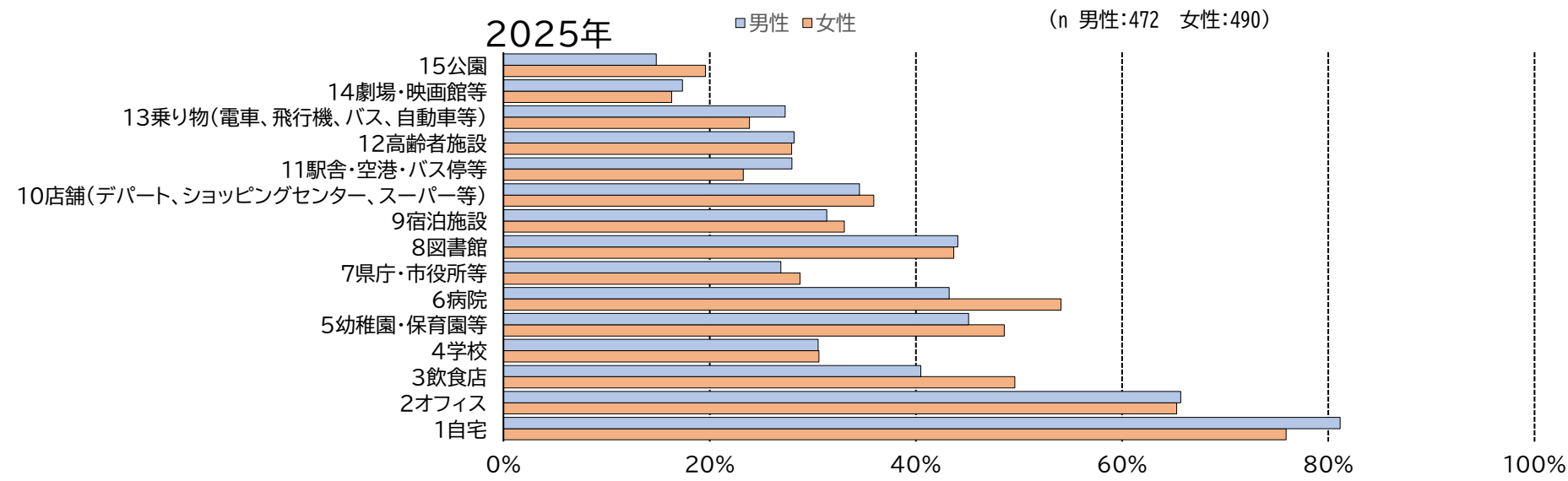
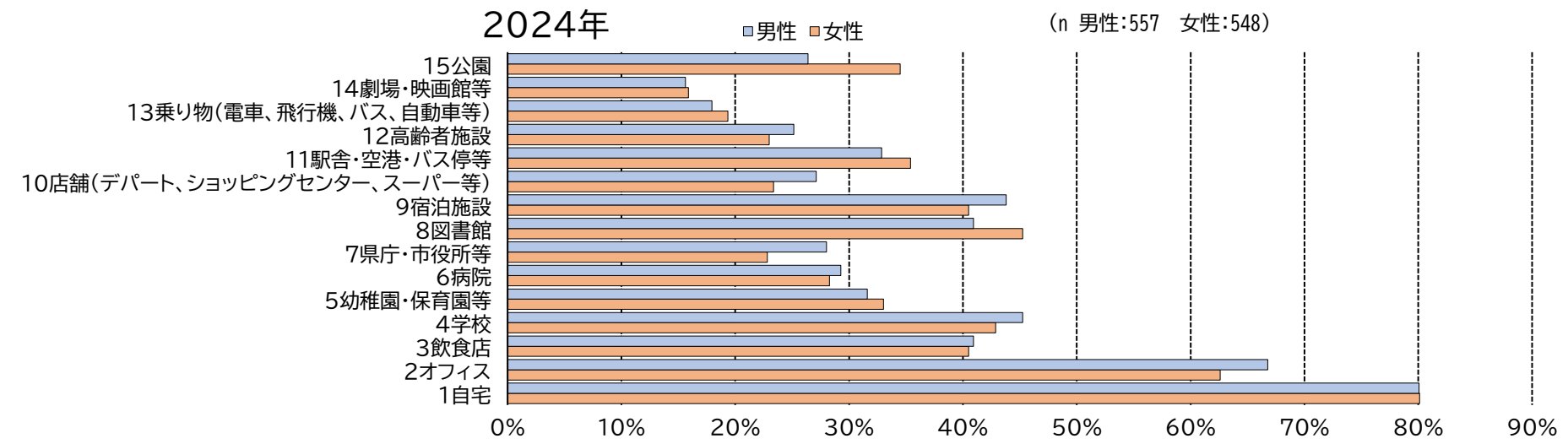
- 男性・女性ともに、「学校」「公園」が大きく低下している。
- 今回の変化が調査対象者の偏りによるものかなど、今後の経過を確認する必要がある。



注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。

木材を利用した製品のあったらいいなと思う場所【年次別・男女別比較】

■ 2024年は男女差は比較的限定的だったのに対し、2025年は女性が「病院」「幼稚園・保育園等」「飲食店」で男性を上回り、男性は「自宅」「オフィス」「乗り物」で高く、男女差の表れ方が変化している。



注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。

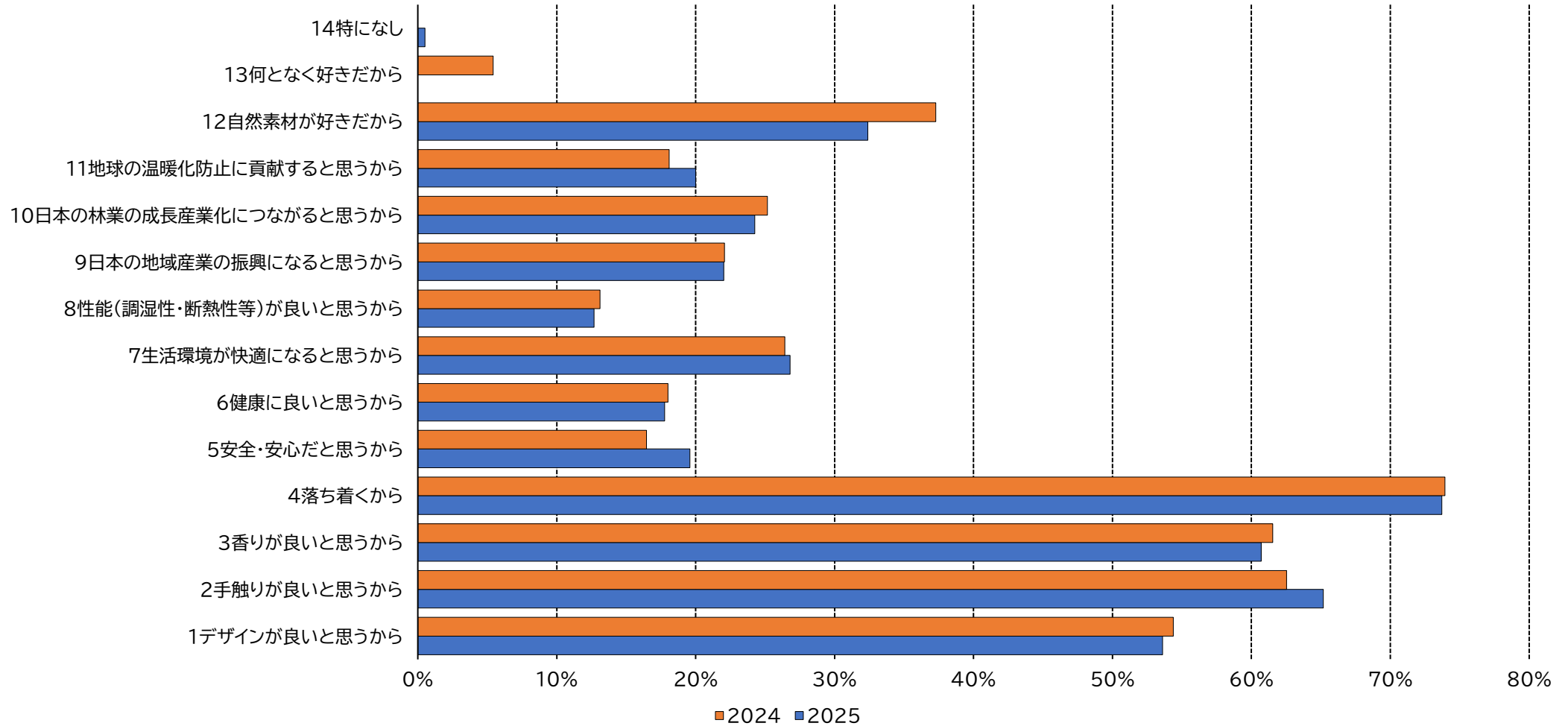
木材を利用した内装や家具、建物などを取り 入れたいと思う理由は何ですか。 (複数選択)

- 「木材を利用した製品があったらいいと思う場所」の2024年と2025年の比較
 - ✓ 2025年も上位理由は「落ち着く」「手触り」「香り」「デザイン」で、全体傾向は2024年と大きく変わらない。
 - ✓ ただし、「香り」は2024年の方がやや高く、「手触り」「安全・安心」は2025年にやや上昇している。
 - ✓ 性別では、女性は快適性・情緒性に関わる理由が高く、男性は産業・社会的価値に関わる理由が相対的に高い。

木材を取り入れたいと思う理由【年次別比較】

■ 2025年も、「落ち着くから」「手触りが良いと思うから」「香りが良いと思うから」「デザインが良いと思うから」が上位であり、全体の傾向は2024年と大きく変わらない。その中で、「香りが良いと思うから」は2024年の方が高く、「安全・安心だと思うから」「地球の温暖化防止に貢献すると思うから」はやや増加している。

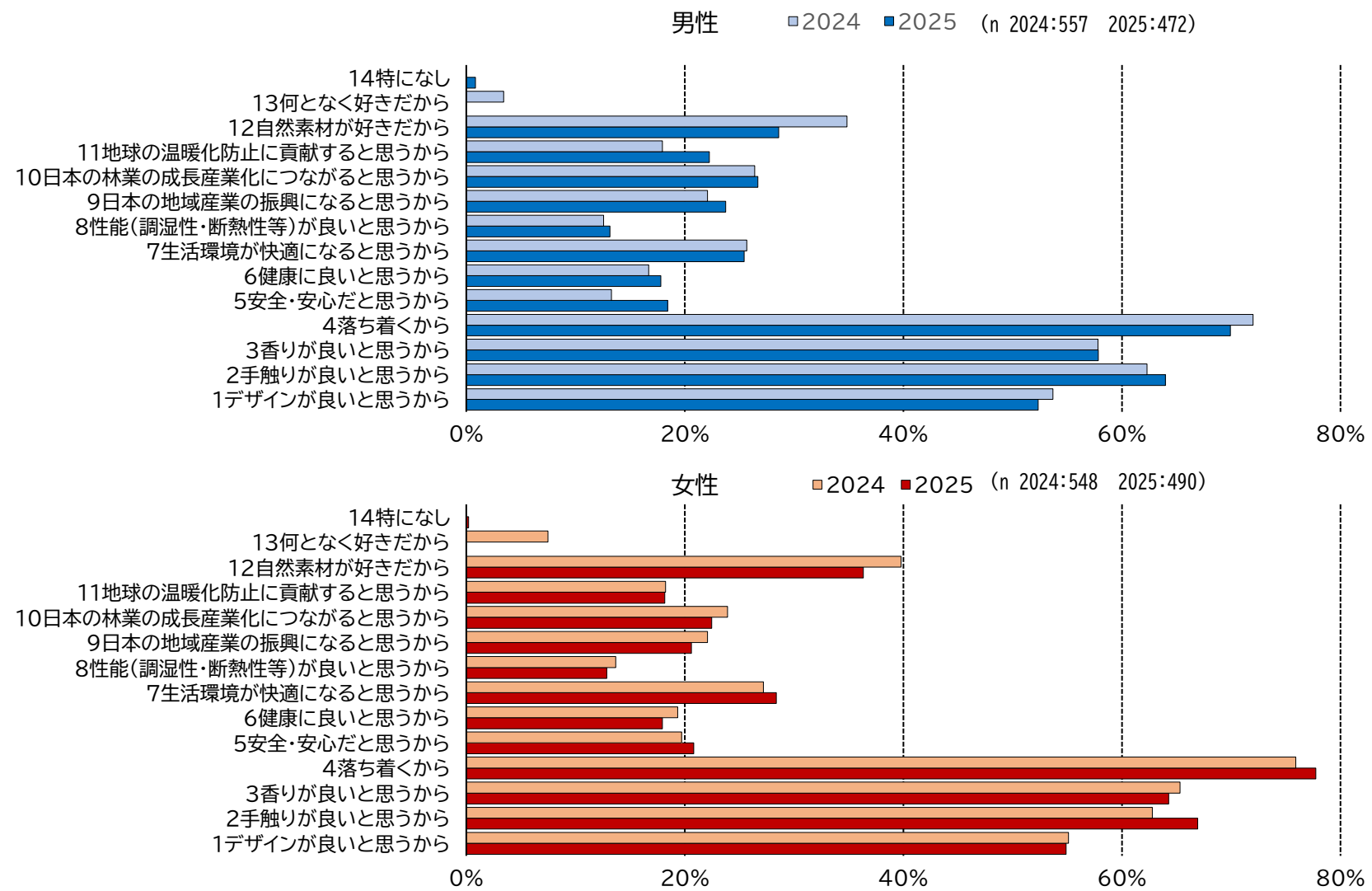
(n 2024:1105 2025:985)



注. 質問項目「水源保全や災害防止に貢献すると思うから」は2024年度のみ調査し、2025年度は調査していないため本集計から除外した。

木材を取り入れたいと思う理由【男女別・年次別比較】

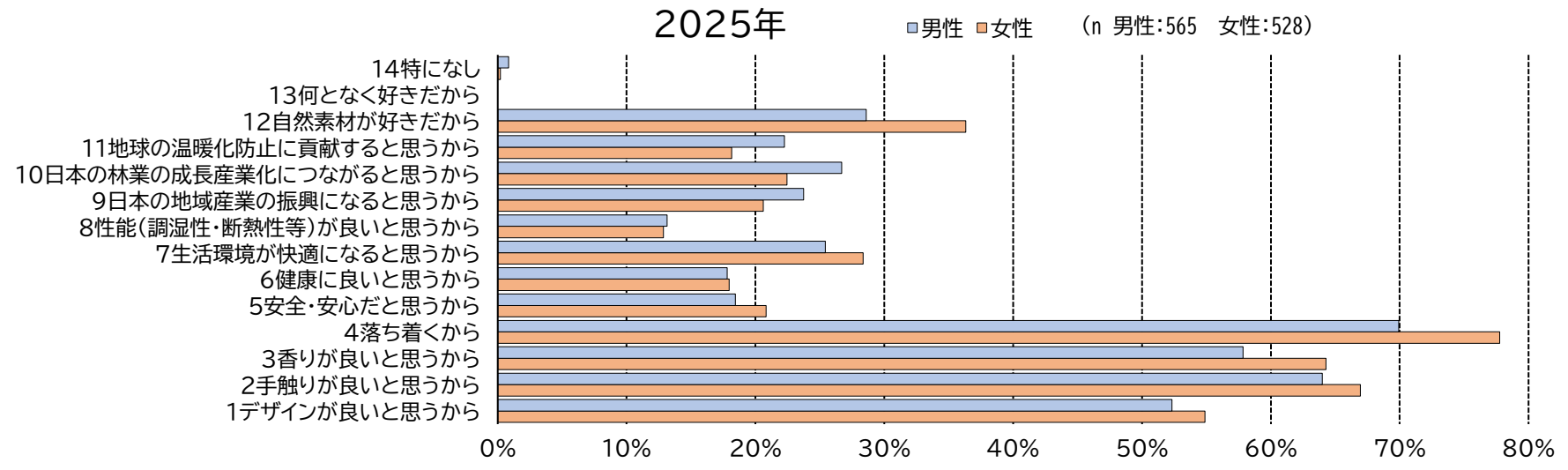
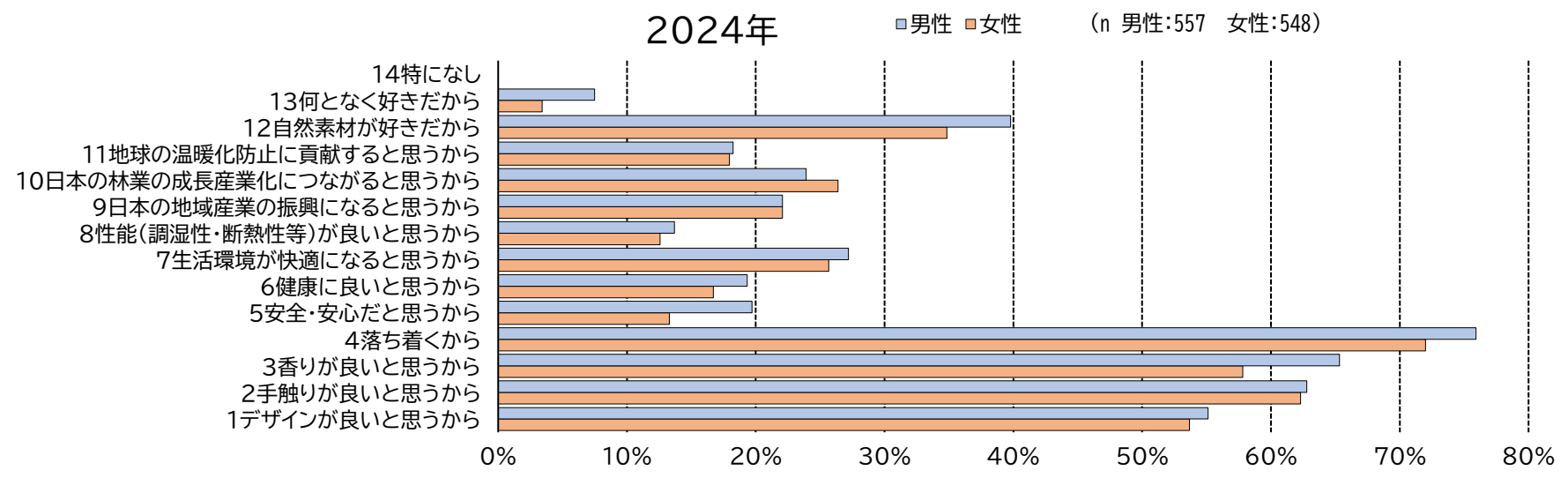
■ 男女とも「落ち着くから」「手触りが良いと思うから」「香りが良いと思うから」「デザインが良いと思うから」が引き続き上位であり、木材への期待は、機能面や社会的意義よりも感覚的・情緒的価値に支えられている。



注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。
 なお、質問項目「水源保全や災害防止に貢献すると思うから」は2024年度のみ調査し、2025年度は調査していないため本集計から除外した。

木材を取り入れたいと思う理由【年次別・男女別比較】

- 女性は男性より「落ち着く」「香りが良い」「手触りが良い」などの回答が高く、木材を快適性や心地よさと結び付けて捉える傾向が強い。
- 一方、男性は「日本の林業の成長産業化につながる」「日本の地域産業の振興になる」など、木材を産業・社会的価値から捉える傾向がある。



注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。
 なお、質問項目「水源保全や災害防止に貢献すると思うから」は2024年度のみ調査し、2025年度は調査していないため本集計から除外した。

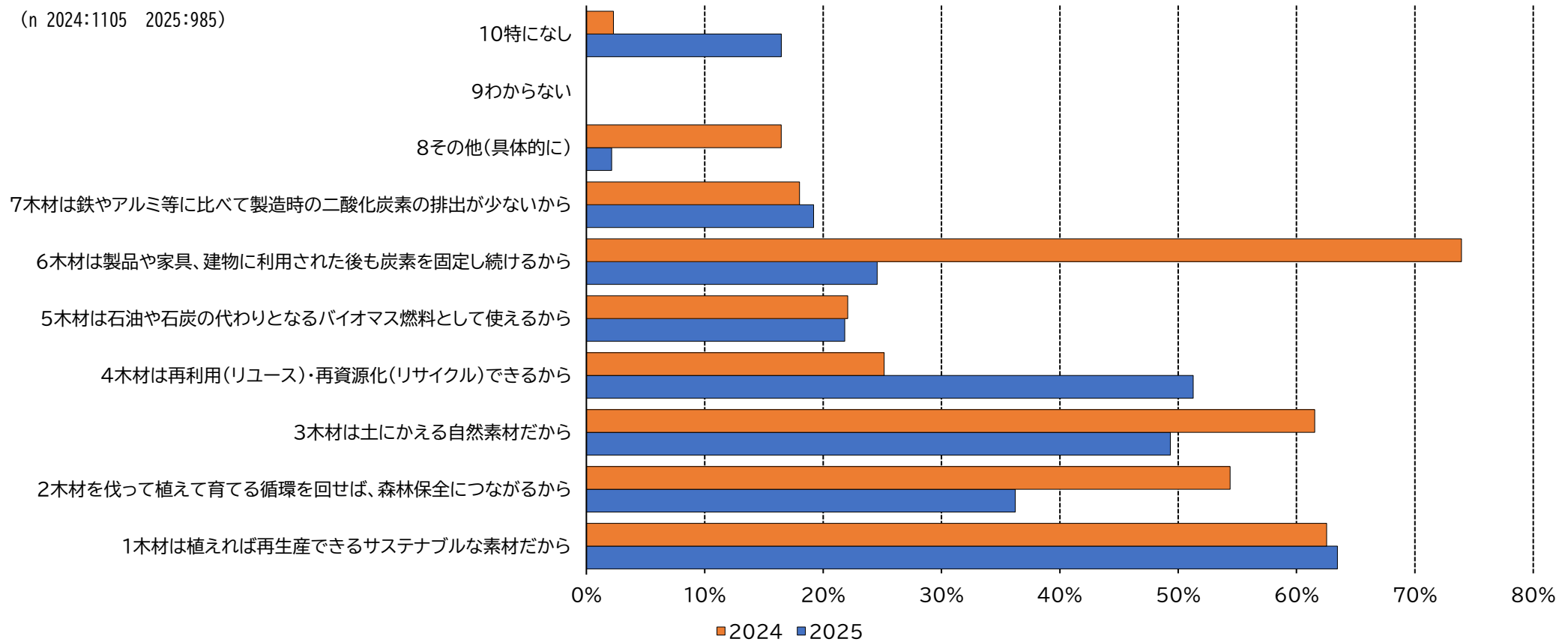
製品や家具、建物に木材を利用することが環境に良いと思う理由を教えてください。 (複数選択)

- 「木材利用が環境に良いと思う理由」の2024年と2025年の比較
 - ✓ 2025年も「木材は植えれば再生産できるサステナブルな素材だから」が最多であり、「リユース・リサイクルできるから」は男女とも大きく上昇した。
 - ✓ 一方、「森林保全につながるから」「土にかえる自然素材だから」「利用後も炭素を固定し続けるから」は低下しており、木材の環境価値の理解は、森林保全・炭素固定から資源循環へと重心が移っている。また、女性は自然素材性、男性は資源循環・炭素固定の観点を相対的に重視する傾向がみられる。

木材を利用することが環境に良いと思う理由【年次別比較】

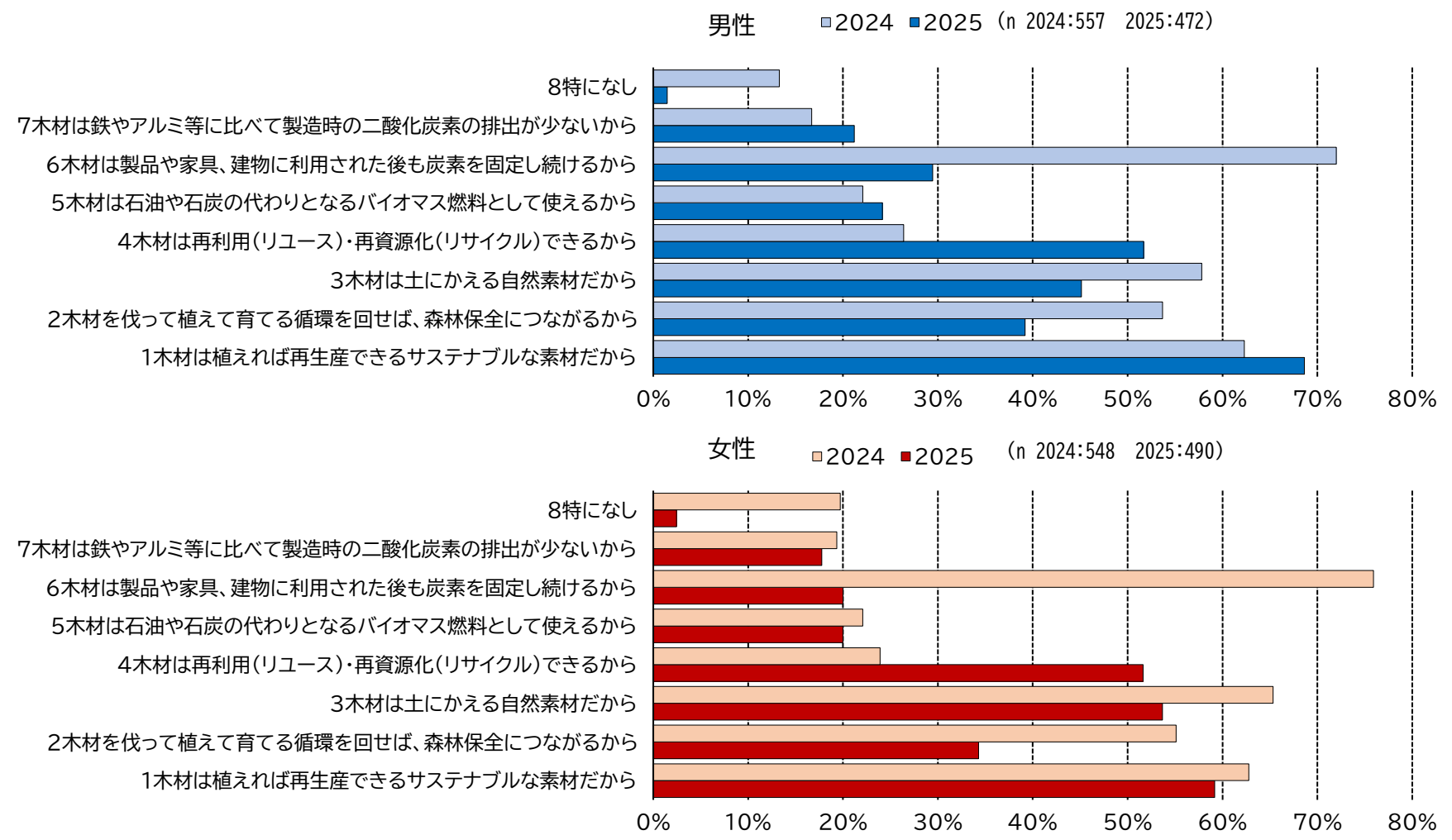
- 2025年も「木材は植えれば再生産できるサステナブルな素材だから」が最多であり、「木材は再利用（リユース）・再資源化（リサイクル）できるから」がこれに続く。木材の環境価値は、引き続き再生産可能性と循環利用の観点から理解されている。
- 一方で、2024年に比べると「木材を伐って植えて育てる循環を回せば、森林保全につながるから」「木材は土にかえる自然素材だから」「木材は製品や家具、建物に利用された後も炭素を固定し続けるから」は低下し、「木材は再利用（リユース）・再資源化（リサイクル）できるから」は上昇した。2025年は、木材の環境価値が森林保全・炭素固定よりもリサイクルしやすさとして理解される傾向にある。

(n 2024:1105 2025:985)



木材を利用することが環境に良いと思う理由【男女別・年次別比較】

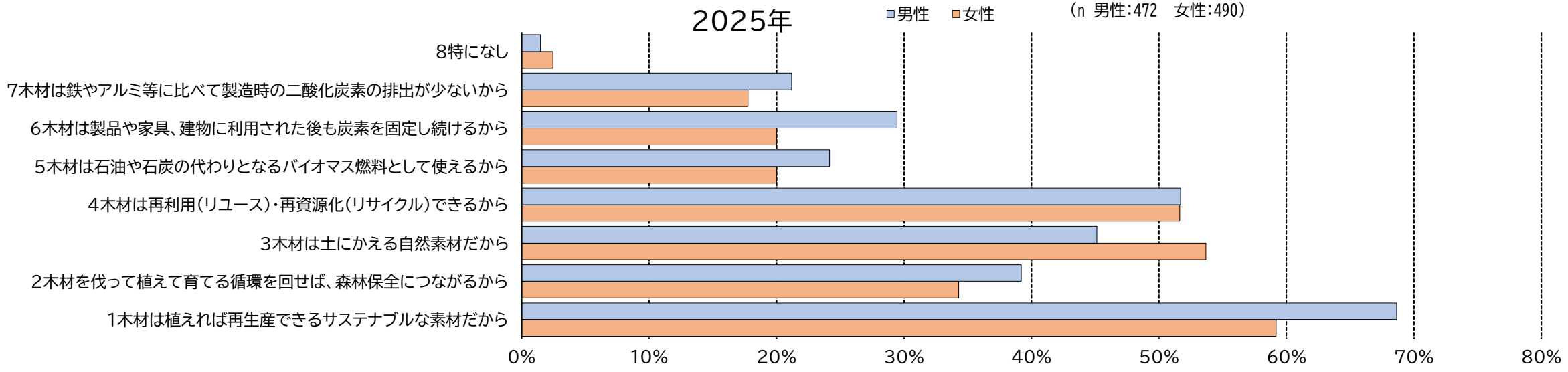
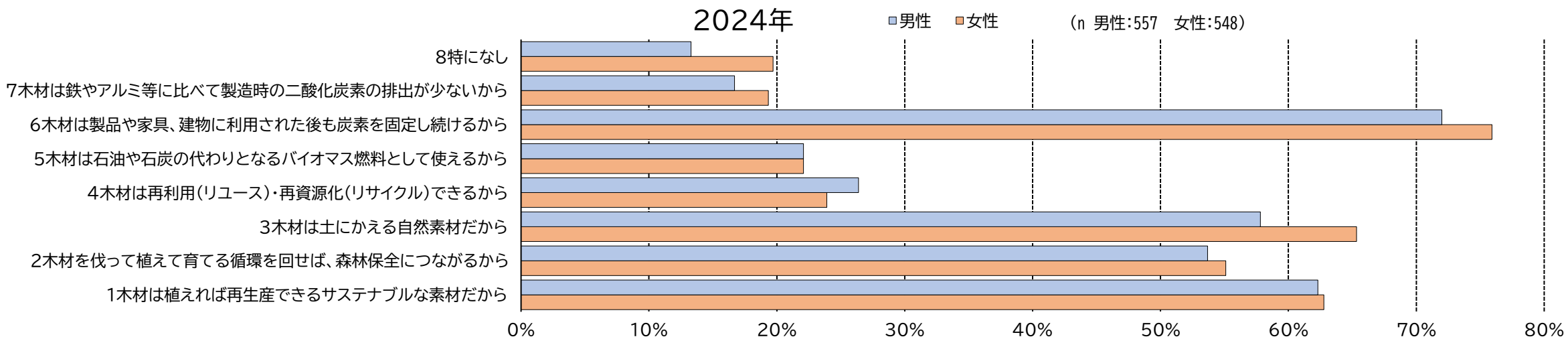
■ 男女ともに「木材は再利用（リユース）・再資源化（リサイクル）できるから」が大きく上昇した一方、「木材を伐って植えて育てる循環を回せば、森林保全につながるから」「木材は製品や家具、建物に利用された後も炭素を固定し続けるから」は大きく低下している。



注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。

木材を利用することが環境に良いと思う理由【年次別・男女別比較】

- 「木材は土にかえる自然素材だから」は女性が男性を上回っており、木材の環境性を自然素材性から捉える傾向は女性に強い。
- 環境理解は自然観では女性優位、資源循環・炭素観では男性優位という傾向がみられる。



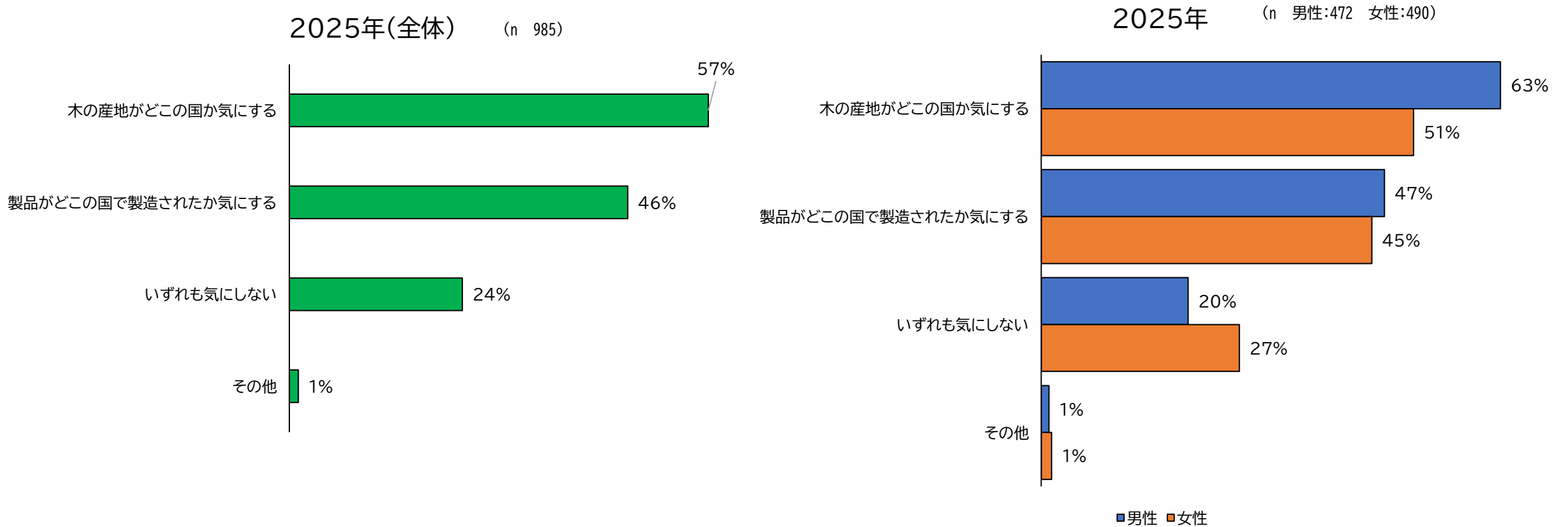
注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。

木でつくられた製品を購入する際に、木の産地や製品を製造した国を気にしますか。 (複数選択)

- 木材や製品の産地への関心を集計
 - ✓ 最も多かったのは、「木の産地がどこの国か気にする」という回答であった。
 - ✓ 次いで、「製品がどこの国で製造されたか気にする」が続いた。
 - ✓ 男女差は大きくないものの、「木の産地」を気にする割合は男性のほうが高く、女性は「いずれも気にしない」の割合がやや高い傾向がみられた。

木材産地への関心【全体・男女別比較】

- 「木の産地がどこの国か気にする」が57%で最も高く、「製品がどこの国で製造されたか気にする」（46%）を11ポイント上回った。木材では、最終製品の製造国以上に、原材料の“由来”そのものへの関心が高いことがうかがえる。
- 一方で、「いずれも気にしない」が全体の24%を占めており、産地情報そのものだけでは購買判断に結び付きにくい層も一定数存在する。産地表示は単独で示すのではなく、品質、安心感、環境配慮といった便益と併せて訴求することが重要と考えられる。



注. 2025年度アンケートでは男性472名、女性490名、無回答23名の計985名の回答を得たが、無回答はサンプル数が少ないため、ここでは男性、女性の回答割合のみを示す。

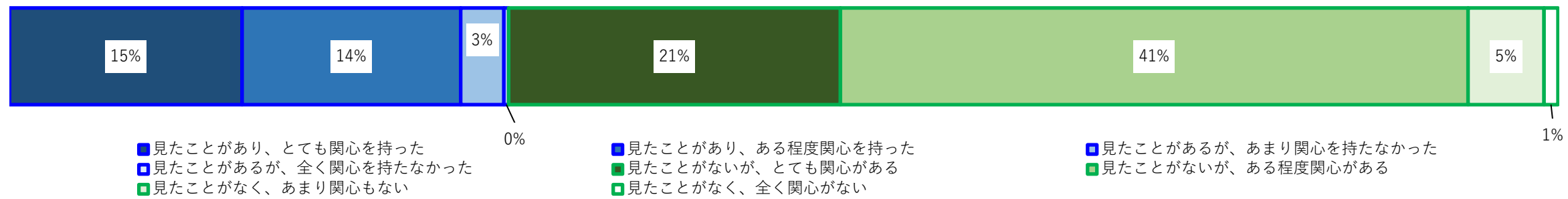
日本ウッドデザイン協会が制作している木や木材に関する調査・研究が集まるデータベース「WOOD DESIGN LIBRARY)」はご存じですか。

- WOOD DESIGN LIBRARYの認知度・関心度について集計
 - ✓ 認知率は3割強にとどまる一方で、未認知層にも高い関心がみられ、潜在需要の大きさが確認された。現状のボトルネックは内容の評価よりも、未認知層への到達不足にあると考えられる。
 - ✓ 男女別では、男性のほうが既認知層はやや厚い一方、女性では「未認知だが関心あり」の層が相対的に多い傾向がある。

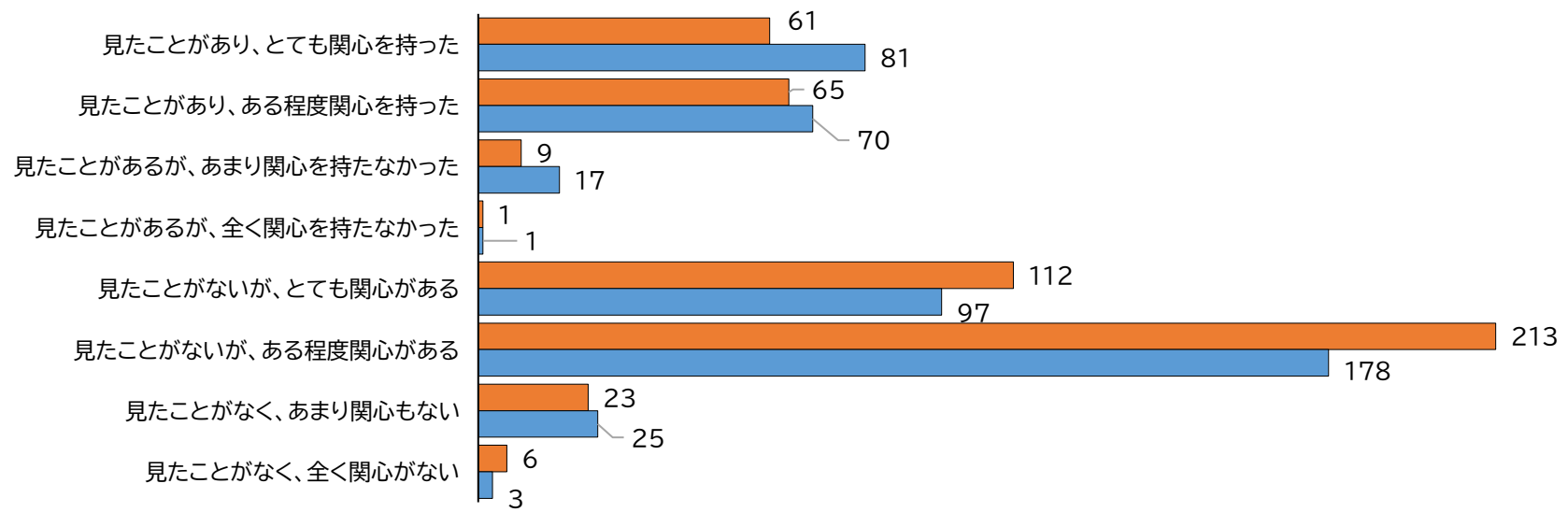
ウッドデザインライブラリーの認知度・関心度【全体・男女別比較】

- 認知・関心度をみると、「見たことがないが、ある程度関心がある」が41%で最も多く、「見たことがないが、とても関心がある」21%を合わせると、未認知ながら関心を持つ層は62%に達した。
- 認知率は3割強にとどまる一方で、関心度は総じて高く、課題はコンテンツそのものよりも、まず認知拡大と接点づくりにあることが示された。

2025年 ウッドデザインライブラリーの認知度・関心度 (n 985)



2025年 男女別 (n 女性:490 男性:472)



あなたの気になったウッドデザイン賞2025の
受賞作の「気に入った理由」を教えてください。
（自由記述）

※アンケートチラシまたは受賞作品展示をご参照ください。

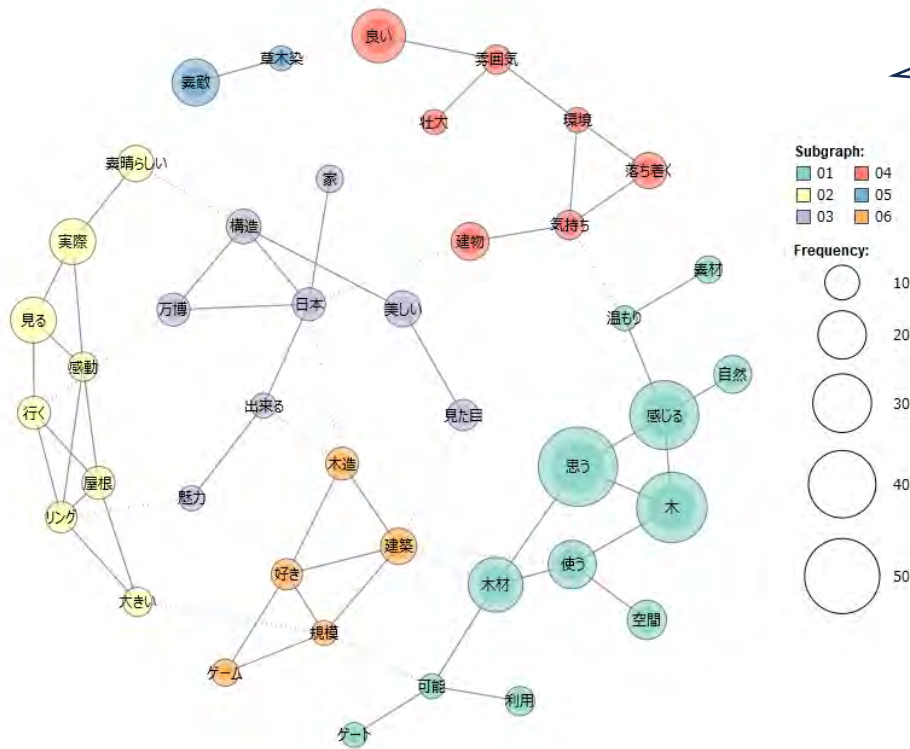
- アンケートの自由記述において多く言及されたキーワードを集約
 - ✓ アンケートの自由記述で多く言及されたキーワードを集約すると、「木」「自然」「温かみ」「空間」「デザイン」「子ども」「学べる」などが目立つ。木材特有の温かさやリラックス感、日常空間に自然を取り入れる価値への共感に加え、教育的な活用や先進的なデザインとの融合にも関心が寄せられていることがうかがえる。

ウッドデザイン賞の入賞作品への感想

- 多くの意見において中心となっているのは、木材特有の「温かみ」や「リラックス効果」に対する再認識である。特に、大規模木造建築に対しては構造美への感嘆の声が多かった。
- 日本の優れた木造技術だけでなく、地域性やサプライチェーンの構築といった産業的な広がりも、人々の心を動かす背景として考えられた。
- 都市部のオフィス空間や駅の改札といった無機質になりがちな場所に木材を取り入れることで、日常の中に自然との調和を生み出す工夫も共感を集める傾向が見られた。
- 林業を学べる教材、未利用資源を活用したプロダクトなど、教育面や生活に密着したアプローチも、そのユニークな発想への支持が窺われた。
- 全体を通して、伝統的な木の良さを保ちながらも、先進的なデザインや技術との融合を図ることによる木材利用の多面的な価値への期待が表れた感想群であった。

共起ネットワーク

(n 345)



自由記述で同時に現れやすい語の結びつきを示す図である。

語の出現傾向の近さから、関連語のまとまりを階層的に示す図である。外枠の棒グラフは語の出現頻度を示している。

円形デンドログラム

(n 345)

